山口日独協会ニュース

Neuigkeiten der Japanisch-Deutschen Gesellschaft　Yamaguchi

Nr.１１９，Mai　2015

山口日独協会　〒753-0083　山口市後河原94

Japanisch-Deutsche Gesellschaft Yamaguchi:

Ushirogawara 94, Yamaguchi, 7530083, JAPAN

TEL/FAX : 083-920-2965

http://www.jdg-yamaguchi.jp/　info@jdg-yamaguchi.jp

協会からのお知らせ

１　＜フルート＆ピアノ　ジョイント・コンサート＞のご案内

山口日独協会主催のコンサートを下記のとおり開催します。ドイツで活躍する音楽家によるコラボレーション・コンサートです。クラシック・ジャズ・ポップス・ドイツ/日本民謡の多彩な世界をお楽しみください。

日時：２０１５年５月３１日（日）１７時開演、１６時３０分開場

場所：山口市 山口日産自動車㈱ポルシェセンター2階

（山口市大内御堀1220-1、TEL083-922-1911）

演奏者：ピアノ：パトリック・ケーブラー、フルート：服部さゆり

曲　目：フランツ・ドップラー：サロン・マズルカ、

クラウディ・ボリング：フルートとジャヤズピアノのための小品、

デューク・エリントン：センティメンタル・ムード

バイエルンの民謡、日本の民謡　　ほか

入場料：全席自由／一般¥1,000（大学生以下¥500）、当日券は共に200円増し

＊チケットは、各理事または山口市内プレイガイドで販売しております。

会場は、２月に山口日独協会総会を行った建物の２階です。今回協会会員にもなられた山口日産自動車㈱末冨会長と松永ピアノのご協力を得て、同会場で行います。

詳細は、チラシを同封しています。

２　第13回山口国際交流芸術祭（共催）のご案内

山口国際交流芸術祭は、山口県内のヨーロッパ関係の国際交流団体（山口EU協会、日独協会、日英協会、ナバラの会、日本フィンランド協会）、西京シネクラブ等が共同で開催し、ヨーロッパの文化、芸術を紹介しています。

コンサートでは、ヨーロッパ音楽をお届けします。１部では古楽器によるバロック音楽の調べを、２部のコーラス＆オーケストラでは、ヘンデル：オラトリオ「メサイア」を取り上げます。全曲演奏には２時間半かかる大曲ですが、この素晴らしい曲を数年かけて全曲演奏に取り組む計画で行っています。今年は、３年目となりこの芸術祭のためにオーケストラを学生、一般の方々により山口国際交流芸術祭管弦楽団を編成しました。新たな試みのオーケストラもご鑑賞ください。

映画では、夢を叶えること、恋をすること、人生の黄昏時にふたたび全てが輝き始める瞬間を描いた、最高にチャーミングな物語をお楽しみください。

本格的な夏を前にした緑深い季節、パークロードの木陰で、平和の尊さ、素晴らしさを感じられるひとときをどうぞ。

内容の概略は、次のとおりです。チラシがこの会報発行まで間に合いませんでした。近日中にはプレイガイド等市中に配布します。

＊Event１．　「西洋音楽発祥の地山口～ヨーロッパ特集コンサート」
・日　時：7月11日（土）15:00～17:00、場　所：山口県教育会館(山口市大手町)
・料金：前売り～一般¥1,000,大学生以下¥500（当日共に¥200増）
・内　　容：
＜1部＞バロック音楽の響き
ゲオルク　ムファット(Georg Mufatt 1653～1704仏→独)：パッサカリア
マラン　マレ(Marin Marais 1656～1728 仏)：フォリアの変奏
ヴィオラ　ダ　ガンバ：河本　基實、チェンバロ：中野　洋子
＜2部＞コーラス＆オーケストラ
ヘンデル：オラトリオ「メサイア」抜粋
テノール：藤田卓也、山口国際交流芸術祭管弦楽団・合唱団
指揮：清水宏之
チケットは、上原理事長またはプレイガイドでどうぞ。

＊Event２映画上映(山口国際交流芸術祭＆西京シネクラブ7月特別例会＊共同主催)
「トレヴィの泉で２度目の恋を」（2014年／英語（日本語字幕）アメリカ／1時間37分）
・日時：7月25日（土）、上映時間①10：30～　②14：00～　③19：00～
・場所：山口県教育会館(山口市大手町２－１８/TEL:083-922-5766)
・料金：前売り～ 一般¥1,500、大学生以下¥1,000　（当日共に¥300増）
・内容：恋をするのに遅すぎることなんてない。人生を楽しむのは自分次第一。
晩年を迎えつつあるエルサは、人生でまだ叶えていない夢があった。それは、ローマのトレヴィの泉へ行き、映画『甘い生活』描いたような甘美なシーンに自分も立ってみたい、という夢・・・。80歳のフレッドは失意の中にいた。7ヶ月前に長年連れ添った妻が先立ち、娘のリディアに進められ、心機一転、住み慣れた家から小さなアパートメントへ引っ越すが、心は沈んだまま・・・。エルサの暮らすアパートメントにフレッドが引っ越してきたことをきっかけに、陽気で活発でおしゃべりが大好きなエルサと不器用で無愛想で無口なフレッドは出会い、そして大切な存在へと関係を深めていく・・・。

３「リンデンバーム・ピクニック」のご報告

５月 17 日（日）、今年も山口市亀山公園山頂の菩提樹の下にて行いました。
ドイツから来山中の Magali Scholke さん、山口日英協会の方や NPO 法人亀山公園を愛し育てる会事務局長ご夫妻も参加されました。
植樹した木は 2 本です。1 本は説明プレートを設置しましたので、順調に育っていました。後 1 本は、離れたところに植えていたのですが、二度ほど折られてしまいました。しかし再び立派な葉がつきました。こちらも大事に育て、見守っていきたいと思います。

左側銅像前が菩提樹です

立派に復活の菩提樹！

4　ドイツ・ツアーのご案内

前回の会報でもお知らせしましたが、山口日独協会主催のドイツ・ツアーを 7 月 23 日～31 日行います。ドイツの西北バイエルン州マインフランケン地方に 8 日間滞在、フランケンのワイン畑やワイナリーの見学、ヴュルツブルクの文化遺産のレジデンス、マイン川沿いの小さな村や城を回って、ワイン祭りとワイン醸造所のテイスティングも楽しみます。

申込期限 6 月 22 日としていましたが、遅くなると飛行機チケット予約が金額等不利となります。早めにお申し込みください（定員に達した時点で締切、あと少しです）

お問合せ～エムデ・アンゲリカ　ﾒｰﾙ:emdea753@yahoo.co.jp　TEL:083-932-1492
上原理事長　ﾒｰﾙ:ueharahy@sage.ocn.ne.jp　TEL:083-920-2965

5　会員の皆さんからの投稿、情報提供

(1) 上原理事長からの投稿です。「ドイツ紀行」を次ページに掲載しています。

(2)「**プラハ放送交響楽団山口公演**」のご案内　（チラシを同封）
・日　時:6月20日（土）18時30分開演（17時30分開場）
・会　場:山口市民会館　大ホール
山口日独協会500円割引があります。ご希望の方は、上原理事長へご連絡下さい。

(3)「**中国茶＆スイーツを楽しむ～ピアノトリオの夕べ**」のご案内　（チラシを同封）
・日　時：7月19日（日）18時開演（17時30分開場）
・場　所：山口市 山口日産自動車㈱ポルシェセンター

(4)「**かなでの旅路in山口**」コンサートのご案内　（チラシを同封）
・日　時：7月27日（月）19時開演
・場　所：山口情報芸術センター スタジオA
日独協会会員曽田元子さんが代表をされているYAN山口アートネットワーク10周年記念プログラムです。お問合せは、YAN山口アートネットワーク(TEL:090-9504-5526)へ。

(5)「**ストラディヴァリウス・サミット・コンサート2015**」のご案内
・日　時:5月29日（金）18時30分開演（17時30分開場）
・会　場:山口市民会館　大ホール　（チラシは前回同封しました）
山口日独協会500円割引があります。ご希望の方は、上原理事長へご連絡下さい。

＊お問合せは、各理事か上原理事長へご連絡をお願いします。メールでも結構です
上原（TEL:083-920-2965,090-5269-4941・ﾒｰﾙ:info@jdg-yamaguchi.jp）

＜会　費　納　入　の　お　願　い＞

会費：法人；10,000 円、一般;2,000 円、家族;1,000 円、学生；1,000 円
今年度の会費未納の方は、下記のとおりお願いします。支払い方法は以下のとおりです。山口銀行の場合、皆さんの通帳からATMを利用されると振込手数料は無料です。手数料倹約のご協力をお願いします。

【会費納入方法】
振込先：郵便局　口座番号；01550＝9＝26140　加入者名；山口日独協会
：山口銀行県庁内支店　口座番号；6171166　加入者名；山口日独協会

ド　イ　ツ　紀　行　（下）

上 原　久 生

私の昨年のドイツ紀行の掲載が止まっていました。まず、区切りを付けないと今年のツァーに出かけられませんね。

山口日独協会会員として私がよく質問を受けるのは、「何故ドイツなのですか？」です。皆さんもドイツに関わられた理由、きっかけは色々おありと思います。私の場合は、クラシック音楽の愛好から始まりました。高校生の頃から本格的に楽しみ始め、大学時代はオーケストラに所属し、チェロを弾きました。もっとも、音楽そのものより、練習やコンサートの後の打ち上げコンパが好きで、付いたニックネームは「セロ弾きのゴーシュ（豪酒）」でしたが・・・。沢山の曲を聴き、馴染みましたが、私にはベートーヴェン Beethoven、バッハ Bach、ブラームス Brahms（ドイツ３大 B と称されます。これにブルックナーBruckner を加えて４大 B と言われたりします）、ワーグナーに代表されるドイツ系の音楽を好きになりました。ウィーンもドイツ語圏ですからモーツァルト、シューベルト、シュトラウスも入ってきますね。ドイツ系の音楽が好きになり、ドイツに興味を持つようになりました。

今回の旅では、コンサートに行く機会は無かったのですが、教会の鐘や教会を中心に作られた街のたたずまいに私の好きなドイツの音楽の基礎地を感じることができました。また、音楽を以前はレコードで楽しむのが中心でしたが、それを包む 30 ㎝四方のレコードジャケットも魅力的でした。ジャケットにはドイツやヨーロッパの風景がよく使われていて、ドイツを旅して「何時か見た風景だな」と何度も感じました。

5 日間滞在したマルクトハイデンフェルド Marktheidenfeld は、ドイツの小都市で教会を中心に街が形成され、周辺にはブドウ畑が広がり、ワイン醸造元が沢山あります。そして、ビール工場もあり、地域の特色・政策を地域で考え、実施していき、また風力発電も始まり、経済が域内で賄われています。域内で経済が完結するほど、資本が地域に蓄積され豊かであると言われますが、ドイツでは大変上手く運営されていると感じられました。中央から様々な影響が強い日本の地域疲弊は、この観点からも見直されるべきかと感じました。

私はドイツ好きですが、有難いことにドイツ人も日本が好きな様です。メルケル首相がアジアの某大国をたびたび訪れている事を気にする論調もありますが、ドイツの日本への想いは別格の様です。旅でも、何度もその好意を感じました。余談ですが、私は経験したことは無いのですが、昔はよくこう話しかけられたそうです。「貴方は日本人か。この前は日独伊三国同盟で上手く行かなかったが、今度は日独二国同盟でやろう！」ブラックユーモアの面もありますが、愛日の感情が出た発言だと思います。

今年の山口日独協会のツァーは、マルクトハイデンフェルドに滞在し、ドイツの魅力をじっくりと体験します。ご一緒に行きませんか！

中央がマルクトハイデンフェルドの教会

ヴュルツブルクのマリーエンベルク要塞